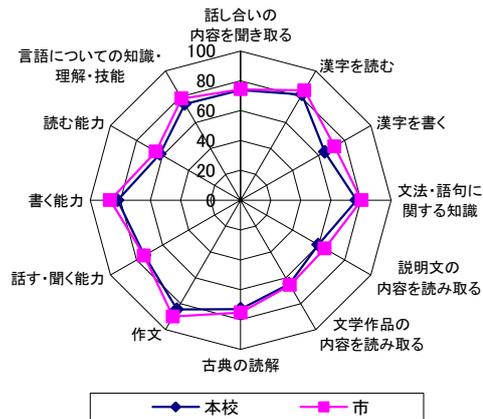


# 宇都宮市立国本中学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	73.9	74.3
	漢字を読む	81.7	84.9
	漢字を書く	64.7	72.1
	文法・語句に関する知識	77.1	80.5
	説明文の内容を読み取る	59.6	64.6
	文学作品の内容を読み取る	64.7	65.6
	古典の読解	72.9	75.3
	作文	84.5	90.0
観点別	話す・聞く能力	73.9	74.3
	書く能力	81.7	86.8
	読む能力	61.9	65.1
	言語についての知識・理解・技能	74.4	78.6



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・平均正答率は市の平均に比べ0.4%低い。問題の中では、聞き手に理解してもらうための話し合いの工夫の聞き取りが2%弱上回っていた。しかし、その他の話の内容を正確に聞き取ることや、発表の内容を捉える問題では、市の平均を下回った。	・聞き取り問題で要点を聞き取り、メモする能力を伸ばしていく。今後も授業の中で聞き取り問題を取り入れていく。また、普段の授業の中でも、発表や教師の指示などを聞く態度を指導していきたい。
漢字	・漢字の読みの平均正答率は市の平均に比べ3.2%低い。また、書きの平均正答率は市の平均に比べ7.4%低い。最も正答率の低い問題は読みは「図(はか)る」であり、書きは「専門」であった。	・引き続き新出漢字の練習を各単元に合わせて行っていく。また、既習漢字の定着を図るために、反復練習を行う。
文法・語句に関する知識	・平均正答率は市の平均に比べ3.4%低い。特に正答率の高かった問題は、慣用句についての理解であり、市の平均を3%上回っている。低かったのは助動詞についての理解を問う問題で2.4%低かった。	・慣用句の正答率が高かったのは授業で扱った直後だったことが考えられる。機会を設けて、語句の問題を解かしていく。
説明文の内容を読み取る	・平均正答率は市の平均に比べ5%低い。特に文章の内容を捉えて、具体的な事例にあてはめる問題が低かった。他の問題も平均に届かなかった。	・各段落の内容の読み取りや要旨のまとめ方については今後も継続して行っていく。加えて、論の展開の工夫について読み解くポイントを押さえる活動を設けていく。具体的には、意味段落がどのような役割をしているのかを考える活動を取り入れる。
文学作品の内容を読み取る	・平均正答率は市の平均に比べ0.9%低い。登場人物の様子を問う問題は市の平均を7.6%上回っていた。しかし他の問題は市の平均に届かなかった。	・場面の展開に即して登場人物の心情を読み解くことを中心に行っていく。本文の描写から、心情の変化が読み取れる表現を探していけるような活動を設けていく。
古典の読解	・平均正答率は市の平均に比べ2.4%低いしかし歴史的仮名遣いを問うものは市の平均を1.8%上回っている。他の主語を捉えること、内容を捉えるものは下回っていた。	・古典の苦手意識をなくすために、教科書の古典以外にもわかりやすい古典やおもしろさを感じられるような作品を通して、基礎的・基本的な知識の定着を図っていく。
作文	・平均正答率は市の平均に比べ5.5%低い。特に3段落構成で文章を書くことを問う問題が低かった。	・課題作文を書く機会を今後も定期的に設けていく。また、その場で添削することにより、見直しの機会や構成の確認ができるため、国数英週間でのT2の活用に生かしていく。